

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 410 (通算 742 回)

開催延期

中長期経営計画を支える資産運用シナリオ——

大学・財団法人の資産運用～検証と深化Ⅱ

～原則と歴史から／国際事例に学ぶ ETF の活用／新体制への移行プロセス～

- ※法人の事業・収支計画と整合する運用計画／安定した運用収入、長期的な元本保全・成長
- ※理解・管理できる範囲での運用内容に留め続ける／長期的な継続性・一貫性・説明性の担保
- ※なぜ上場投資信託 (ETF) がツールのコアなのか／「新しい資金運用」への移行シナリオ

● 講師・パネリスト陣 ●

- 梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデュシヤリー (株) 代表取締役 コンサルタント
- 渡邊 雅史 氏 / バンガード・インベストメンツ・ジャパン (株) ETF 戦略部長
- 渡邊 啓輔 氏 / ブラックロック・ジャパン (株) ETF 事業部
- 粟津 久乃 氏 / インディペンデント・フィデュシヤリー (株) マネージングディレクター

■企画協力■ 非営利法人 資金運用研究会 学校法人 城西大学

2020年3月27日(金)城西大学 東京紀尾井町キャンパス3号棟国際会議場(東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時：2020年3月27日(金) 10:00~16:50

会場：城西大学 東京紀尾井町キャンパス3号棟
国際会議場(東京・麹町)千代田区平河町2-3-20

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より
徒歩5分。または東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」
1番出口より徒歩5分
※会場の地図及び受講証を送付しますので
必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込)

49,000円(消費税込)

B. メディア参加(資料・音声CD送付)

50,000円(送料、消費税込)

C. 非営利法人資金運用研究会員：28,000円

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合
が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名<(株)地域科学研究会>

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10 ライオンズ平河町101

Tel : 03(3234)1231 / Fax : 03(3234)4993

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 410

大学・財団法人の資産運用～検証と深化Ⅱ

年 月 日

- 当日参加 メディア参加
- 非営利法人 資金運用研究会員
(□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

連絡部課・担当者名 _____

所在地 〒 _____

(書類宛名： _____)

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替 当日払い 銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書 領収書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
第1部 大学・財団の資産運用 現状の問題点・制約条件 今後の対処策の考え方	
10:00 ～ 11:00	<p>1：旧来型の資産運用と「新しい資産運用」の事例比較 インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一 氏</p> <p>(1) 大学・財団の資産運用～究極の目的（ゴール） (2) 法人の事業・収支計画と資産運用計画との整合 (3) 安定した運用収入の達成 (4) 長期的な運用元本の保全と成長 (5) 運用内容は、組織として理解・管理できる範囲に留める (6) 組織の資産運用としての、長期的な継続性・一貫性・説明性の担保 (7) “間違った考え方” “間違ったやり方” “間違ったシステム”とは？ <A 法人の事例> (8) 解決策としての「新しい資産運用」とは？ <B 法人の事例> <質疑応答></p>
11:10 ～ 12:00	<p>2：大学・財団の資産運用の制約条件</p> <p>(1) 人材の制約 (2) 会計・決算の制約 (3) 金融ビジネスの制約 (4) 資産運用・金融市場の制約 (5) これら制約条件に適合する方策 <質疑応答></p>
第2部 これからの大学・財団の主たる資産運用ツールの考え方	
13:00 ～ 13:40	<p>3：一般常識でも理解できる資産運用についての普遍的な考え方 インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一 氏</p> <p>(1) 日銀のETF買入れ～損を出してはいけない公金で、なぜETF（上場投資信託）を買えるのか？ (2) 資産運用と“大数の法則” (3) 利子配当収入と運用元本のクオリティ（普遍性と継続性）という視点 (4) 資産運用についての学術的、実証的な研究・検証の歴史 <質疑応答></p>
13:50 ～ 14:30	<p>4：これからの資産運用ツール ETF（上場投資信託）とは？<1> バンガード・インベストメンツ・ジャパン 渡邊 雅史 氏</p> <p>(1) ETFのベンチマーク・インデックス～金融市場平均指数とは？ (2) ETFの構造～金融市場の複製方法 (3) ETFの分配金～金融市場の利子配当利回りの複製方法 <質疑応答></p>
14:40 ～ 15:20	<p>5：これからの資産運用ツール ETF（上場投資信託）とは？<2> ブラックロック・ジャパン 渡邊 啓輔 氏</p> <p>(1) ETFの円滑な取得・解約の仕方 (2) 円建て債券運用の動向 為替ヘッジ外債投資の役割 <質疑応答></p>
第3部 パネルディスカッションとまとめ	
15:30 ～ 16:10	<p>[パネル討論] 大学・財団資産運用におけるETF活用の状況と今後の展望</p> <p>○司会 梅本 洋一 氏 ○パネリスト 栗津 久乃 氏（インディペンデント・フィデュシャリー） 渡邊 雅史 氏 / 渡邊 啓輔 氏</p>
16:20 ～ 16:50	<p>[まとめ] 旧来型の資産運用から「新しい資産運用」への移行の事例 インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一 氏</p> <p>(1) 財団法人 a（運用中の仕組債など多い。運用収入目標が厳格）の事例 (2) 財団法人 b（運用中の仕組債など多い。運用収入目標が厳格）の事例 (3) 学校法人 c（運用中の仕組債など少ない。運用収入目標が緩い）の事例 (4) 学校法人 d（運用中の仕組債など多い。運用収入目標が厳格）の事例 (5) 仕組債など既運用資産、運用収入目標、組織・人的な要素（メンバー、決定手続き・スピード）と、「新しい資産運用」への運用移行パターン。 (6) 最後に、投資アドバイスについて。 <質疑応答></p>

●事前テキスト <ご購入の上、当日持参ください>●

『新しい公益法人・一般法人の資産運用』 太田 達男(序) 梅本 洋一著 (公財) 公益法人協会 2017年12月刊
 アマゾンなどオンライン書店で好評発売中